

2 研究の実際 > (3) ピア・メディエーションに関する活動プログラム

イ 活動プログラムの指導計画

中学校の活動プログラム(全5時間)

時	内容	活動名	活動内容
1	怒りについて知る	<p>「怒りについて考えよう」</p> <p>自分の怒りの温度を測ってみよう!</p> <p>あなたは、次のようなときどのくらい怒りを感じますか。怒りの温度計に色を塗りましょう。 怒りが全くないときの温度を0℃、怒りが爆発するときの温度を100℃とします。</p> <p>(例) 下校時、隣の人が開いた傘が、自分の顔に当たった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルが起きるときに抱く、様々な感情の1つである怒りについて学習します。 ・温度計を例に、怒りを数値化していくことで、人によって怒りの感じ方が違うことに気がきます。 ・風船を例に、怒りの大きさをスライドを使って視覚化して、怒りの仕組みについて理解します。
2		<p>「怒りと上手に付き合おう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【怒りへの対処法】として、その場で1人でできる対処法を体験します。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>【怒りへの対処法】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 深呼吸 ② カウントアップ ③ 自分への声掛け ④ リフレーミング </div>
3	トラブル未然防止のスキル	<p>「トラブルにならないような話し方を練習しよう」</p> <p>トラブルになりそうな場面①</p> <p>次の国語の授業で、グループの意見をまとめて発表することになりました。 グループ内の役割決めをしています。 AさんかBさんがグループ代表の発表者をしなければいけません。</p> <p>Aさんは、Bさんに頼もうとしています</p> <p>あなたがAさんだとしたらBさんにどのように頼みますか?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルになりそうな場面での話し方について学習します。 ・話し方のモデリング（動画）を見て、【話し方のポイント】について理解します。 ・【話し方のポイント】を意識して練習します。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>【話し方のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 事実（問題）を確認する ② 自分の気持ちを伝える ③ 相手にどうしてほしいのかを提案する ④ 解決につながる提案をする </div>
		<p>【モデリング Ⅲ】</p> <p>A: ねえ、あのさ。 B: なに? A: 国語の発表者を決めないといけないね。 B: うん、そうだったね。 A: この前の理科の授業で発表したから、他の人に発表してもらいたんだけど。よかったらBに国語の発表をやってもらいたいなあ。 B: う～ん、嫌だよ。でも発表の原稿づくり、自信がないんだ…。 A: 発表の原稿づくりだったら、できそうだよ。手伝うよ。 B: じゃあ、分かった。やってみる。 A: ありがとう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルにならないような【聞き方のポイント】を確認します。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>【聞き方のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 相手を見てうなずきながら聴く ② 最後まで聴く ③ 相手の気持ちを言葉や表情から読み取りながら聴く </div>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-size: 2em; font-weight: bold;">トラブル解決のスキル</p>	<p style="background-color: #FFD700; padding: 5px;">「友達のトラブルを解決する方法を知ろう」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>あなたがCさんなら、どのように声を掛けますか？</p> <p style="color: #FF4500;">トラブルの場面</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="color: #FF4500;">トラブルの場面②</p> <p style="background-color: #ADD8E6; padding: 5px;">放課後、係の仕事で呼ばれたときに、AさんもBさんも行きたくなくてもめています。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">Cさんの台詞を考えましょう</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 間に入ることを確認する 「もめごとを解決したいと思うんだけど、ちょっと話に入らせてもらっていいかな」 ② 相手の話を最後まで聴くことを約束させる 「話を聴かせてもらう前に、相手の話を最後まで聴くというルールを守ってほしいんだけど。Aさん、できる？」 ③ くり返ししながら平等に聴く 「〇〇ということだね。Bさん、どうですか？」 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルの場面で、第三者としてトラブルを解決していくためのポイントを学習します。 ・「A L' Sの法則」を使ったトラブル解決の場面のモデリング（動画）を見て、【トラブル解決のポイント】について理解します。 <div style="border: 2px solid #00FF00; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">【トラブル解決のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① トラブルの当事者である2人に、間に入ることを確認する ② トラブルの当事者である2人に、相手の話を最後まで聴くことを約束させる ③ トラブルの当事者である2人の言い分を繰り返しながら平等に聴く ④ 解決案を出さない <p>※トラブルが解決しない場合は、大人に話す</p> </div>
	<p style="background-color: #FFD700; padding: 5px;">「友達のトラブルを解決する方法を練習しよう」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【練習の仕方】</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・【トラブル解決のポイント】を使って、具体的なトラブルの場面でのロールプレイを行います。 ・4人グループで、役割を交代しながら、全ての役を体験します。

教育課程への位置付け<中学校>

◆中学校第2学年の学級活動の年間指導計画に位置付けた例
(学校により、学校行事の時期が異なることが考えられます)

月	主な学校行事	時数	題材・活動	活動内容項目			活動プログラムの位置付け例
				(1)	(2)	(3)	
4	始業式	1	2年生になって		ア		
		2	学級目標づくり	イ			
		3	1学期学級組織づくり	イ			
		4	生徒会活動への参画	ウ			
5	生徒総会 体育大会	5	学校行事への参画意識		ウ		
		6	集団生活の向上		ウ		
		7	学ぶことの意義			ア	
		8	働くことの意義			エ	
6	教育相談	9	将来の生き方と職業			オ	
		10	生活習慣の改善		キ		【1】怒りについて考えよう
		11	保健指導		キ		【2】怒りと上手に付き合おう
7	終業式	12	規律ある生活		ケ		
		13	1学期の反省	ア			
		14	夏休みの計画			イ	
9	始業式	15	2学期学級組織づくり	イ			
		16	思いやりの気持ちを育てる		オ		【3】トラブルにならないような話し方を練習しよう
		17	不安や悩みの解決		ア		
		18	ボランティア活動の理解		カ		
10	スケッチ会	19	自立への一歩	ウ			【4】友達のトラブルを解決する方法を知ろう
		20	自己と集団をみつめなおす	ア			【5】友達のトラブルを解決する方法を練習しよう
11	文化発表会 生徒会長選挙	21	生徒会新リーダーへの協力	ウ			
		22	男女相互の協力		エ		
		23	私の夢と希望			ウ	
12	終業式	24	心と体の成長		ク		
		25	2学期の反省	ア			
		26	有意義な冬休みの生活			イ	
1	始業式	27	冬休みの反省と3学期の目標	ア			
		28	3学期学級組織づくり	イ			
		29	1年後の自分を考える			オ	
2	立志式	30	立志式で学んだことを生活に生かす		ウ		
		31	先輩への思いを込めて		ウ		
		32	友情と思いやり		イ		
		33	1年間の反省	ア			
3	卒業式 修了式	34	春休みの過ごし方			イ	
		35	学級解散式		オ		

※活動プログラムは、以下の教育課程でも実施することが考えられます。

- ・総合的な学習の時間
- ・保健体育 保健分野【(1)エ 欲求やストレスの対処法と心の健康】